

おしゃれも「携帯」で

同志社女子大生らが開発した携帯電話型ミラー



同女大生 企業とミラー開発

内部に小物入れ

同志社女子大学芸学部情報メディア学科(京田辺市)の学生6人が、総合ギフトメーカー「岩田良」(大阪府八尾市)と共同で携帯電話型のミラーを開発した。片手で簡単に開けることができ、内部に綿棒などの小物入れを備えている。同女子大は年内にも今出川(上京区)、京田辺(京田辺市)両キャンパスの生協などで販売する。同学科の科目「eコマース」の一環で、6人は2007年5月に

てアイデアを練り、岩田良に提案した。ミラーは長さ約10センチ、幅5センチ、厚さ約2センチのプラスチック製。重さは約120グラムで同じサイズの携帯電話より軽めという。色は白、ピンクの2種類で計1万台作った。28日には、美優館の社長を務めた3年中安貴子さん(20)らが記者会見し、「苦勞もあつたが、1台6000円の単価は希望通りになった。誇りに思います」などと声を弾ませた。同女子大は6月10日、約5000人が訪れるオープンキャンパスなどで高校生らに無料で配る。